

# 初心者のための「ジオグラフィカ」活用法 (android編)

「ジオグラフィカ」は、山好きの人が個人で開発し、開発者自身が、各地の山行に利用し、機能を検証しています。このため、ジオグラフィカに装備されている機能は、実際の利用に裏付けされたものであり、初心者でも使い心地の良いアプリとなっています。

このメモは、山の初心者が、山の初心者とIT初心者のために「ジオグラフィカ」の機能の中から、**ルート案内と地図のダウンロードおよびGPSログの取得**について紹介したものです。

「ジオグラフィカ」はiosとandroidスマホで動作しますが、この活用法はandroidスマホについて記述したものです。


※ジオグラフィカは、松本圭司氏の提供する地図アプリです。

## 目次

	頁
<a href="#">はじめに</a> -----	1
<a href="#">用語</a>	1
<a href="#">スマホの準備</a>	1
<a href="#">(1) アプリのインストール</a>	1
<a href="#">(2) SDカードの準備と設定</a>	1
<a href="#">1. 地図のダウンロード</a> -----	2
<a href="#">1.1 表示キャッシュ</a>	2
<a href="#">1.2 一括キャッシュ</a>	3
<a href="#">(1) 指定範囲の地図をダウンロード</a>	3
<a href="#">(2) 一括キャッシュした地図の確認</a>	5
<a href="#">2. トラックログ(GPSログ)の取得</a> -----	6
<a href="#">2.1 トラックログ(GPSログ)の取得</a>	6
<a href="#">2.2 トラックログ(GPSログ)の参照</a>	7
<a href="#">2.3 他ソフト連携(GPSログの書き出し)</a>	8
<a href="#">参考:カシミール3DによるGPXデータの一括表示</a>	9
<a href="#">3. 山行の案内機能</a> -----	10
<a href="#">3.1 ルート案内</a>	10
<a href="#">3.1.1 ルートの登録方法</a>	10
<a href="#">(1) マーカーの登録方法</a>	10
<a href="#">(2) ルートの登録方法</a>	11
<a href="#">3.1.2 ルート案内による山行</a>	12
<a href="#">3.2 トラックログ案内</a> -----	13
<a href="#">3.2.1 トラックログの登録方法</a>	13
<a href="#">3.2.1.1 直接読込</a>	14
<a href="#">3.2.1.2 スマホにダウンロード</a>	15
<a href="#">3.2.1.3 パソコンにダウンロードしスマホに転送</a>	17
<a href="#">(1) パソコンのブラウザで検索しGPXデータをダウンロード</a>	17
<a href="#">(2) パソコンでダウンロードしたGPXデータをスマホに転送</a>	18
<a href="#">3.2.1.4 GPXデータの取り込み</a>	19
<a href="#">3.2.2 トラックログ案内による山行</a>	20
<a href="#">3.3 音声案内およびその他の設定</a> -----	21

## はじめに

「ジオグラフィカ」では、以下の用語が定義されています。これらの用語は「ジオグラフィカ」を理解する上で重要な用語です。



**マーカー** ある特定の地点を登録したもの。一般には、登山口、分岐、山小屋、山頂などの目的地を登録します。  
歩いている途中で注意すべき事項や特記すべき事項がある地点などを登録することもできます。この場合、マーカー接近時に、その内容が案内されるようにすることができます。

**ロックオン** 目標を捕捉して自動追跡する機能。マーカーやルートをロックオンし、追尾することができます。  
地図上に登録されたマーカーをロックオンすると、そのマーカーまでの距離、高度差、到着予想時刻および現在地とマーカー間が直線で画面上に表示されます。そして、マーカーに到着した時点で音声案内が流れます。

**ルート** マーカーを連続して繋いだ粗い線。ルート案内を開始すると、現在地と最初のマーカーまでとルート上のマーカー間が直線で表示されます。そして、マーカーと同じように次のマーカーまでの距離、高度差、到着予想時刻が表示されます。  
ルート案内を設定すると、ルート開始・終了にあわせてトラックログの開始・終了も行われます。  
ルート登録により、地図のダウンロードと地形の確認を確実に行うことができます。

**トラック (赤:計画)** 道に沿った密度の高い線。軌跡。ルートは主要ポイントを繋いだものですが、トラックは、そのポイントに辿り着くまでの過程を細かく結んだもので登山道にほぼ一致します。この記録がトラックログ。

**トラックログ (青:実績)** トラックを歩いた軌跡。GPSログ。トラックログは「ジオグラフィカ」で取得したのも他のアプリで取得・作成したものと同じです。

地形図：国土地理院

## スマホの準備

### (1) アプリのインストール

- 無料の「ジオグラフィカ」をインストールし、「機能制限解除」を購入します。  
※ 「機能制限解除」を購入しないとGPSのログは8回を越えて取得できません。それ以外にも地図のダウンロード回数や容量などの制限があります。無料で使えるのは、お試し期間です。  
なお、料金は1回のみで発生で960円(2017年9月時点)です。
- 無料の音声ソフト「N2 TTS」をインストールします。  
※ 「ジオグラフィカ」には各種の通知機能があり、音声通知機能があると、とても便利です。  
「ジオグラフィカ」のマニュアルにもある音声ソフト「N2 TTS」をインストールします。

\*2

### (2) SDカードの準備と設定

地図の格納先としてSDカードは必須です。容量は、地図のことだけを考えれば市販品の最低容量(4GB程度)のもので十分です。実際には、その他の用途に応じて準備ください。  
そして、「メニュー」→「設定」→「一般」から「ストレージ」で「SDカード」を選択します。

## その他

本資料は、以下のような利用を想定しています。必要な部分を参照ください。

・ 現在地を確認しながら歩く： 地図のダウンロードとGPSログの表示	頁
1. <a href="#">地図のダウンロード</a>	2
2. <a href="#">GPSログの取得</a>	6
・ 「ジオグラフィカ」でルートを作成し、そのルートを歩く： 山行予定ルートの登録方法とGPSログの取得	
1. <a href="#">地図のダウンロード</a>	2
3. 1 <a href="#">ルート案内</a>	10
・ 「ヤマレコ」「ヤマプラ」等で作成したトラックログを歩く： GPXファイルの取り込み方法とGPSログの取得	
1. <a href="#">地図のダウンロード</a>	2
3. 2 <a href="#">トラックログ案内</a>	13

**注意：** 本資料では、2種のスマホを使用しています(android 4.2.2 と 5.1)。同じバージョンのアプリでもボタンの位置が異なる場合があります。

## 1. 地図のダウンロード

山行中は電波圏外となることが多いので、予め地図をダウンロードしておく必要があります。「ジオグラフィカ」では多くの地図が扱えますが、基本的には国土地理院の地形図を使用します。

地図のダウンロードは以下の2つの方法があります。

方法	保存期間	範囲の指定方法	キャッシュされる縮尺レベル	結果の確認方法
表示キャッシュ	設定で指定 (容量と期間)	スマホの画面に表示した範囲	表示した縮尺レベル	オフライン状態で地図が参照できるか否か
一括キャッシュ	永久保存	画面上の地図で範囲を指定	指定した縮尺レベル (複数レベルの指定可)	一括キャッシュの範囲確認機能

※キャッシュ: インターネット上にある地図データを、スマホのメインメモリ或いはSDカードへ保存することを称しています。

※表示キャッシュの保存期間は、容量と期間を指定します。一括キャッシュは永久保存です。

・容量=100M、500M、1G、5G、無制限の指定が可能。


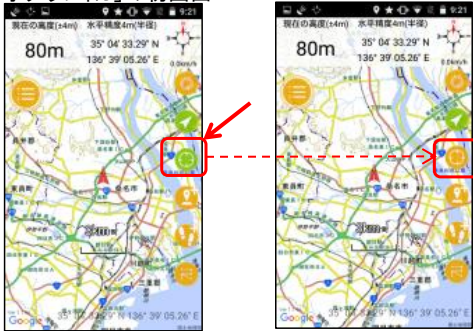

・期間=1週間、2週間、1ヶ月、無制限が可。容量と期間に無制限を指定すると永久保存となります。

### 1.1 表示キャッシュ

表示キャッシュは、「ジオグラフィカ」で地図を表示しながら、山行予定ルートを確認することにより、表示されたエリアの地図をスマホに取り込みます。山行前のルート確認が地図のダウンロードと同じ意味を持ちますので、とても合理的なダウンロード方法であり、ダウンロードされる範囲も必要最小限となりますので無駄を排除できます。しかし、予定ルート以外のエリアを持たないというデメリットがあります。

※ 表示キャッシュの考えられる不都合。

- ・ 迷ってしまった場所の地図がダウンロードされていない場合がある。
- ・ より大きな、或いは、より詳細な地図を参照したいときに、該当のズームレベルの地図がダウンロードされていない場合がある。
- ・ キャッシュのサイクリック使用のため、過去にキャッシュしていた地図が消えてしまっている場合がある。  
(※これは、表示キャッシュの容量と期間を無制限にすることにより回避可能)。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 5.1 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p> 	<p>現在地追尾の停止</p> <p>現在地追尾ボタンが緑色であればタップ。ボタンの色がカーキ色であれば操作不要。</p> <p>※ 停止させないと、GPSで現在地を測定するたびに地図が移動してしまいますので、操作に支障があります。</p>
3	<p>山行予定エリアの地図表示</p> <p>大まかな地図から詳細まで画面に表示させます。</p> 	<p>山行予定エリアの全ての地図を表示</p> <p>※ この操作により、地図がキャッシュされ、電波圏外でも表示した地図が使用可能となります。</p> <p><b>ここで注意すべきことは「表示されたものがキャッシュされる」ということ。どの範囲が、どのズームレベルでキャッシュされたかは、スマホをオフライン状態にしたときに表示できる範囲となります。</b></p> <p>山行予定ルートの表示が終了したらダウンロードも終了します。リターンキーで終了し、実際の山行に備えます。</p>

## 1.2 一括キャッシュ






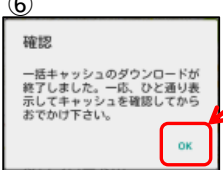



一括キャッシュは、ダウンロードしたいエリアを地図上で範囲指定します。同時にダウンロードしたい地図のズームレベルの最大値(値が大きほど詳細)を指定します。一括キャッシュでダウンロードした地図は表示キャッシュのダウンロードと異なり以下の利点があります。

- ・ダウンロードしたエリアをいつでも簡単に確認できます。  
どの範囲の地図がスマホに格納されているのかを簡単に確認することができます。
- ・確実に保存されます。  
表示キャッシュのように再利用による消去などの心配がありません。  
これにより、安心して地図を利用できます。

### (1) 指定範囲の地図をダウンロード




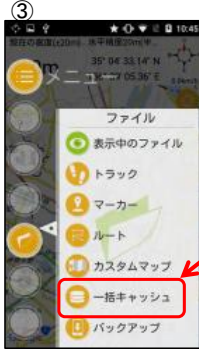
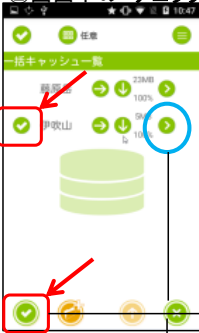
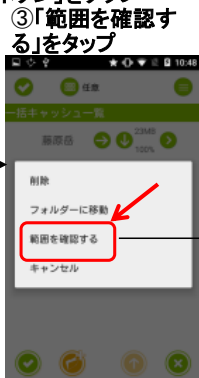


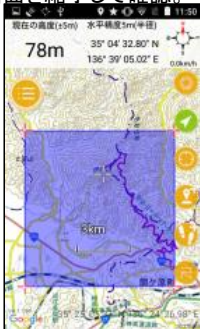

ダウンロードするエリアは、矩形の対角2点を指示します。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 5.1 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p> 	<p>現在地追尾の停止</p> <p>① 現在地追尾ボタンが緑色であればタップ。 ボタンの色がカーキ色であれば操作不要。</p> <p>※ 停止させないと、GPSで現在地を測定するたびに地図が移動してしまいますので、操作に支障があります。</p> <p>② 一括キャッシュさせようとしているエリアに地図を移動させます。</p>
3	<p>一括キャッシュしようとしているエリアを表示</p> 	<p>一括キャッシュの指定</p> <p>以下の順番に操作します。</p> <p>①「メニューボタン」をタップ ②ポップアップメニューから「ツール」をタップ ③ツールメニューから「一括キャッシュ」をタップ</p>

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
4	<p>一括キャッシュの範囲指定画面</p>  <p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p>  <p>④</p>  <p>⑤</p>  <p>⑥</p>	<p>範囲の指定と名称の設定</p> <p>一括キャッシュする範囲・ズームレベル・名称を指定します。</p> <p>①  ボタンをタップ</p> <p>② 一括キャッシュの範囲が示されるので、矩形を調整する。 調整方法：四隅の+のマークをロングタップすると、そのコーナーが少し移動するので、そのまま画面上で範囲を調整。</p> <p>③ 一括キャッシュしたい範囲になったら、  ボタンをタップ</p> <p>④ ・一括キャッシュの範囲の名前を入力 ・最大ズームレベルを設定 ※ズームレベルは15で2万5千分の1。 16、17も地図の縮尺は同じなので、等高線の数は同じ。</p> <p>・ ボタンをタップ</p> <p>⑤ ダウンロード中の表示</p> <p>⑥ ダウンロード完了メッセージ「OK」をタップ</p>

(2) 一括キャッシュした地図の確認

どの範囲の地図が「ジオグラフィカ」にダウンロードされているかを画面上で確認する機能です。表示キャッシュした地図は、スマホをオフライン状態にして確認するしか方法がありませんが、一括キャッシュした地図は、いつでも確認することができます。



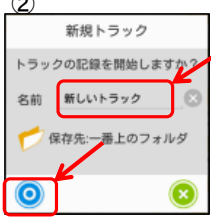

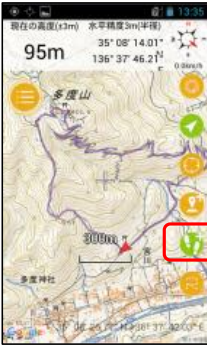
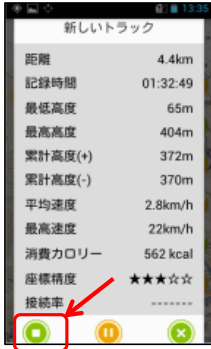
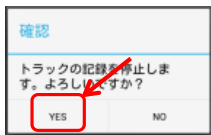
No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 5.1 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p>   	<p>一括キャッシュの範囲確認設定</p> <p>以下の順番に操作します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「メニューボタン」をタップ</li> <li>②ポップアップメニューから「ファイル」をタップ</li> <li>③ファイルメニューから「一括キャッシュ」をタップ</li> </ol>
3	<p>一括キャッシュ一覧が表示されるので、範囲確認する一括キャッシュを指定し、範囲確認</p>   <p>※キャッシュ名を複数選択すると「範囲を確認する」の項目は表示されません。</p> 	  <p>④ 画面いっぱいに一括キャッシュされた範囲の地図が表示されますので、画面を縮小して確認。</p> <p>※範囲の色が上記以外の場合は、正常に完了していないので再ダウンロードが必要。</p>  <p>※この例では、最も大まかなズームレベルが8で詳細が15でダウンロードされていることを示す。</p>

## 2. トラックログ(GPSログ)の取得

「ジオグラフィカ」は、単に山行の軌跡を記録するだけではなく「ルート案内」や「インターバルスピーチ」など山行のナビゲーション機能が豊富ですが、ここではログの取得・参照・他ソフト連携について説明します。

### 2.1 トラックログ(GPSログ)の取得

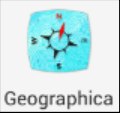

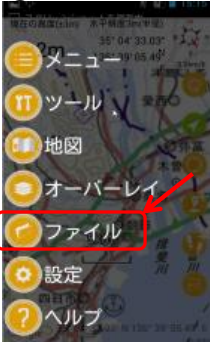
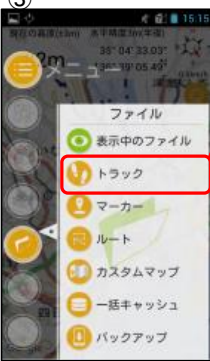

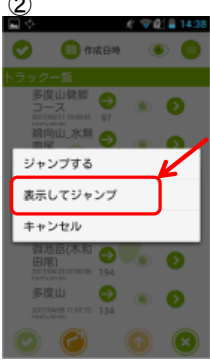

トラックログの取得開始から終了までの手順は以下のとおりです。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p>  	<p>トラックログの開始</p> <p>① 「トラックログ開始」ボタンをタップ ② 新規トラックのポップアップメッセージに対し、「トラックログの名前」を入力し、「ボタンをタップ」</p> <p>※トラック名を入力しないと「新しいトラック」という名前が使われます。 ※トラックログを開始すると「トラックログ開始」ボタンと「GPS開始」ボタンが緑色に変化します。</p>
3	<p>トラックログ(GPSログ)取得中</p>  <p>このコンパスは磁北偏差補正済なので真北を指します。</p> <p>現在地追尾ボタン：ボタンをタップし緑色の状態だと、現在地が画面の中央に位置付けられます。</p>   	<p>現在地と進行方向の確認</p> <p>青色の線：実績トラックログ</p> <p>※進行方向の確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方法1：画面右上のコンパスを真北に合わせる。地図と方位が一致するので、地図を参照しながら進行方向を確認する。</li> <li>・方法2：現在地カーソルを予定ルートに合わせる。上記状態の時のスマホの向き(画面のステータス表示域を矢印の方向と見なす)が進行方向となる。</li> </ul> <p>※地図がダウンロードされていないときの動作 白地図があるものとしてトラックログが記録されてゆきます。画面上のトラックを辿れば元に戻れます。</p> <p>① 山行予定が終了したら、緑色状態の「トラックログ開始ボタン」をタップ</p> <p>② トラックログの状況とともに次のアクションを求めるポップアップメッセージが表示されるので、「ボタンをタップ」</p> <p>③ トラックの記録停止を確認してくるので、「YES」をタップ</p> <p>これでトラックログ(GPSログ)の取得は終了。 ※ 取得されたトラックログはトラックログファイルに保存されます。2.2を参照ください。</p>

\*2

## 2. 2 トラックログ(GPSログ)の参照

取得したGPSログはスマホで参照することができます。パソコンで見える場合はGPXログをGPXファイルに変換し、パソコンに取り込むことでカシミールなどの地図ソフトに表示させることができます。過去に行った軌跡を一覧表示させるなどの処理は画面の大きなパソコンの方が優れています。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p>   	<p>トラッカー一覧を表示する</p> <p>メニューからトラッカー一覧を表示させます</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「メニュー」をタップ</li> <li>② 「ファイル」をタップ</li> <li>③ 「トラック」をタップ</li> </ol>
3	<p>トラッカー一覧表示</p>   <p>ファイル表示ボタン</p>	<p>表示対象の選択</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 表示させたいトラック名のすぐ右の矢印をタップ</li> <li>② ポップアップメニューから「表示してジャンプ」をタップ</li> </ol> <p>※ 水色で囲ったファイル表示ボタン ファイル名の横にあるファイル表示ボタンをタップし、濃くすると画面に該当トラックが表示されます。一番上にあるファイル表示ボタンをタップすると全てのファイルに対する表示/非表示を制御でき、スマホで全トラックを表示することができます。</p>
4	<p>トラックログの表示</p> 	<p>3で選択したトラックログが地図上に表示されます。</p>



2.3 他ソフト連携(GPXログの書き出し)

取得したトラックログをGPXデータに変換しGPXファイルとして格納します。このGPXファイルを他のソフトに渡します。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p>   	<p>トラック一覧を表示する</p> <p>メニューからトラック一覧を表示させます</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「メニュー」をタップ</li> <li>② 「ファイル」をタップ</li> <li>③ 「トラック」をタップ</li> </ol>
3	<p>トラック一覧表示</p>   	<p>出力したいトラックログの選択</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 表示させたいトラック名のすぐ左をタップし、チェックを付けます。次に、チェック処理ボタンをタップ。</li> <li>② ポップアップメニューから「GPXエクスポート」をタップ</li> <li>③ GPXファイルの共有方法を選択します。</li> </ol> <p>「ドライブに保存」や「メール」により他のスマホやパソコンに送ることができます。</p>

ドライブに保存、メールともに、ファイル名は以下の通りです。

yyyyymmdd\_トラック名.gpx  
(年月日\_トラック名.gpx)

参考:カシミール3DによるGPXデータの一括表示

GPXデータをパソコンに送りカシミール3Dで表示した例です。  
カシミール3Dでは、ひとつひとつのGPXファイルを表示させること、そして、以下のように一括して表示させることも可能です。山行の思い出を写真として残すだけではなくGPSのログとして残すことが可能となります。  
また、空白地帯を次の山行計画にするなどの利用も考えられます。





カシミール3D: DAN杉本氏が提供している登山者向け地図ソフト  
地形図: 国土地理院

### 3. 山行の案内機能

山行予定を「ジオグラフィカ」に登録すると、山行の案内機能が利用できるため、山行の安全性が飛躍的に向上します。

「ジオグラフィカ」では2つの案内機能が提供されています。

- ・「ルート案内」は、これまでの地図とコンパスを利用した山行方法の形態を支援します。
- ・「トラックログ案内」は、経験者をリーダーに迎えた、引率での山行方法に類似しています。

案内方式	内容	データの作成方法	対象者	
			山の経験	IT経験
 <p>ループ案内</p>	<p>「ジオグラフィカ」では、左図の四角をマーカー(※1)といい、このマーカーを連続して繋いだものをルートといいます。マーカーに到達すると次のマーカーに対する案内に次々と替わります。個々のマーカーごとに方向を確認しながら山行します。チェックポイントごとに確認しながら山行する形態に適しています。</p>	<p>「ジオグラフィカ」のルート作成機能で、地図上に作成されたマーカーを連続してタップし、これを「ルート」として使用します。</p>	中上級者	初級者
 <p>トラックログ案内</p> <p>赤:計画 青:実績</p>	<p>既存のトラックログ(GPXログ)にロックオンすると、これを山行計画トラックとして認識します。このトラックログから逸脱すると警報メッセージが通知されます。先行者の歩いた足跡を辿る山行に適しています。</p>	<p>「ヤマレコ」などに登録された既存のトラックログを使用します。</p>	初級者	中上級者

※1 マーカー(地点登録): 登山口、分岐点、休憩場所、山頂など、目標となる地点を登録したものの。

#### 3. 1 ルート案内

ルート案内は、ルートの登録と、登録されたルートを参考にして山行します。

##### 3. 1. 1 ルートの登録方法

ルートの登録は、マーカーの登録とそのマーカーを繋いでルートにするための処理を行います。

##### (1) マーカーの登録方法

マーカーとして登録できない地点はありません。目的となる地点や過去に興味を覚えた地点、特別なものがあつた地点など自由に登録できます。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p>  	<p>マーカーの登録</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 画面の中心にあるプラスカーソルに、登録したい場所を位置づけ、「マーカー追加」ボタンをタップ</li> <li>② ポップアップメニューに、「マーカー名」を入力し、「ボタン」をタップ</li> </ol> <p>※接近報告にチェックを入れておくと、ルートの地点としなくても、歩いているときに、近づくと音声案内があります。</p>
3	<p>マーカー登録後</p>   <p>マーカー</p>	<p>マーカーが四角で表示されます。</p> <p>※マーカーアイコンは各種用意されていますが、指定しないと四角で表示されます。</p>





(2) ルートの登録方法

ルートは、開始点と終了点が同じでも良いし、別でも良く、開始と終了が繋がれているものがルートとなります。初級者は、なるべく多くの地点を登録すると良いでしょう。但し、トラックログ案内と異なり、ルートを逸脱するという概念がありません。前のマーカーと現在地点と次のマーカー間のそれぞれが直線で結ばれます。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>マーカー登録後の画面</p> <p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p> <p>④ </p> <p>⑤ </p> <p>⑥ </p> <p>⑦ </p> <p>⑧ </p>	<p>ルートの登録</p> <p>① 「メニュー」ボタンをタップ ② 「ツール」をタップ ③ 「地図からルート作成」をタップ</p> <p>④ 以下の指示に従い、マーカーをタップ  <small>ルートに登録したい順にマーカーをタップしてください。</small></p> <p>⑤ 中間のマーカーをタップ ⑥ 最後のマーカーをタップし、ボタンをタップ</p> <p>⑦ ルート名を入力し、ボタンをタップ  <small>※ルート名の省略値は、先頭のマーカー名が使用されます。</small>          ⑧ 確認メッセージに対し「OK」をタップ</p>

3.1.2 ルート案内による山行

登録されたルートに基づいて行動します。各チェックポイントとなるマーカーの場所で音声案内がありますので、その場所で、現在地の確認と次のマーカーの方向や距離などを確認してゆきます。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」の初画面</p> 	<p>ルート一覧を表示</p> <p>① 「ルート案内」ボタンをタップ</p>
3	<p>ルート一覧表示</p> 	<p>ルートの選択</p> <p>① 選択するルートのルート名のすぐ右にあるRボタンをタップ</p> <p>② ポップアップメニューの「ルート案内」をタップ</p> <p>③ トラックログを自動的に取得開始するか否かの確認があるので、トラック名を確認し、<b>ボタンをタップ</b> ※トラック名の省略値はルート名。</p>
3	<p>ルート案内とトラックログ取得中</p> 	<p>現在地と進行方向の確認</p> <p>マーカーの地点で、到着案内と次のマーカーへの案内が音声で通知されます。</p> <p>ルートの最後に達すると、トラックログを自動停止するか否かの確認があります。</p> <p>※ 山行の全てをルート登録していた場合はYESを、そうでない場合はNOをタップしてトラックログを継続します。</p>